

6 生物多様性の保全



「湘南平塚ゆるぎ 里地里山」自然共生サイトへの認定および「30by30アライアンス」への参画

2024年3月、中央日本土地建物が保有する「湘南平塚ゆるぎ 里地里山」（神奈川県平塚市）が、環境省の「自然共生サイト ※1」へ認定されました。中央日本土地建物が、グループの「サステナビリティ基本方針」に基づき、里地里山や湿地の環境改善および復元整備などに「産・官・学・民」一体となって取り組む体制などが評価され認定に至ったものです。また、中央日本土地建物グループは環境省が主催する「生物多様性のための30by30アライアンス ※2」にも参画しています。詳細は、プレスリリース『[「湘南平塚ゆるぎ 里地里山」環境省「自然共生サイト」への認定が決定](#)』をご覧ください。

※1：2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として保全する世界共通の目標「30by30（サーティ・バイ・サーティ）」の達成に向けて、環境省が2023年度から正式運用を開始した制度。

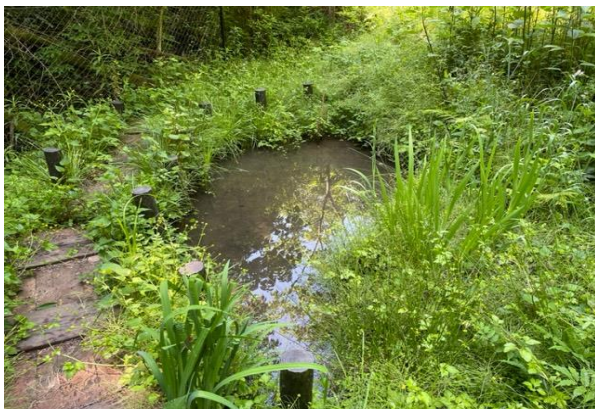
生物多様性の保全に貢献する区域を「自然共生サイト」と認定し、認定を受けた区域は「OECM（自然保護区など以外の生物多様性保全に貢献している場所）」として国際データベースに登録される。

2023年後期認定サイトの一覧は[環境省HP](#)を参照。

※2：環境省が主催する「30by30」の国内達成に向けて各種施策を実効的に進めていくための有志連合。

●トンボの里整備

平塚市市民活動推進補助金を活用して完成したトンボの里において、地元協議会によるトンボの生育と整備維持活動に協力しています。



●菜の花畑生育

地元協議会自然活動部会と連携し、菜の花畑の生育を行っています。



●散策路の整備・景観づくり

平塚市や大学などと連携したワークショップの開催や定例巡回の実施を通じて、散策路周辺の整備活動を実施しています。



6 生物多様性の保全

オフィスビル・住宅等における緑地環境整備

生態系がもたらすさまざまな恩恵の重要性を認識し、開発に伴う生物多様性への影響を緩和するとともにその保全に貢献しています。分譲マンションの敷地内や保有不動産の公開空地などを利用して緑地環境整備を図り、植栽の種類や緑地面積の増加に取り組んでいます。

●京橋エドグラン

ヒートアイランド現象で悪化する都市環境において、安らぎや憩いの場となることを目指し、施設の中心に設置した高さ約31mの開放的なガレリア空間を取り囲むように各階に広場を設け、緑豊かな植栽と日の光や風を感じることができる心地よい空間を整備しました。



●バウス武蔵境

総戸数130戸からなるマンションの敷地内には70種・1万5,000本超の植栽を施し、地域の四季折々の街並みと調和した庭園やプロムナードが続く「公園街区」を整備。また、居住者同士が気軽に集える場として、多世代で一つの菜園をシェアし、気軽に野菜づくりを楽しめるコミュニティを形成しました。



●REVZO虎ノ門

環境への配慮と優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している事業者を表彰する「港区みどりの街づくり賞」（令和4年度）と「港区景観まちづくり賞奨励賞」に選出されました。エントランスおよび各階のバルコニーに設けられた多種多様な植栽が創り出す立面などが緑豊かな都市を形成する取り組みと評価されての受賞となりました。

